



H9000V、HA8000、Groupmax、金融ソリューションシステムで

## 新情報系システムの大規模リニューアルを実現

株式会社 西日本銀行

金融のグローバル化やITの急速な進展により、業態を超えた競争がますます激化する金融業界。

そこで生き残りを図る企業には、積極的なIT投資と業務革新をベースとした、収益力の強化と経営の効率化が重要な課題となっています。

こうしたなか、福岡を拠点に九州地区全般に支店網を広げる西日本銀行では、情報系システムの大規模なリニューアルを断行。

収益管理/ALM/MCIFなどの日立・金融ソリューションシステムと、Groupmax、H9000V、HA8000などを導入し、

最新のIT基盤整備による営業力と事務効率のさらなる向上を図りました。

### イノベーションプランを実現するインフラとして

1944(昭和19)年の創立以来、地域社会との共生を経営理念として発展を続けてきた西日本銀行(以下、にしぎん)同行は、金融機関を取り巻くさまざまな環境変化に対応するため、2001~2003年度までの新中期経営計画「イノベーションプラン」

を策定。コミュニケーションダイナミクス(コミュニケーションを軸に、ともに発展する銀行)をスローガンに、「営業革新」「業務革新」「リスクマネジメント革新」「企業革新」という革新の実践に取り組んでいます。

そして、これらの基本戦略を実現するインフラとして、2001年4月から稼働を開始したのが新情報系システム。同システムは、統合

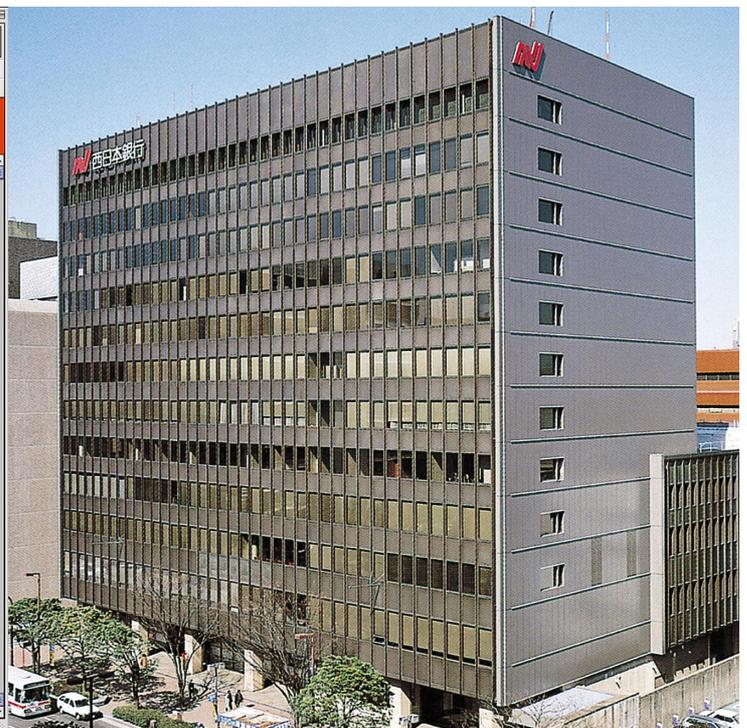


システム部 主任調査役  
長浜 敏寛氏

顧客DB、BPR(グループウェア)、ペーパーレス、収益管理、MCIF(DBマーケティングシステム) 渉外支援、融資支援、営業情報支援など、さまざまな業務システムをイントラネットで結んだ大規模なもの。ハードウェアには、日立のUNIXサーバH9000Vと日立アドバンスサーバHA8000を計50台、クライアントには液晶タイプのFLORA PC2,000台を一気に導入し、IT基盤の大規模リニューアルを実現しました。

「今回の情報系システムのリニューアルにおいては、新たなコミュニケーション手段としての「IT基盤整備」と、情報の蓄積・共有による「営業力の強化」、そしてペーパーレスや作業時間の短縮などを目的とした「事務効率化」を大きなコンセプトに捉えました。

まずIT基盤の整備についてですが、当行では1987年に日立のUNIXシステムである2050が発売された当初から、多くの業務システムに2050を適用してきた歴史があり、その後十数年、UNIX環境で業務を遂行してきました。しかし、インターネットやイントラネットへの対応も含め、基盤整備が必要になってきたということで、クライアントにFLORA PCを2,000台導入し、OSもすべて



にしぎんホームページ <http://www.nishigin.co.jp/> 西日本銀行本店

株式会社 西日本銀行  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-3-6  
取締役頭取 / 新藤 恒男  
資本金 / 508億7,200万円  
店舗数 / 185か店 国内183 海外2)

従業員数 / 3,366名  
総預金 / 3兆9,312億円( 譲渡性預金含む )  
総貸出金 / 3兆4,256億円

(データは2001年3月31日現在)

Windows®2000にしました。サーバも同じく日立のH9000V、HA8000を計50台導入し、業務系システムサーバについてはLinux、パッケージ系システムサーバについてはWindows®2000をOSとしました。

Linuxを採用したのは、コスト面やパワー面でのメリットだけでなく、2050と同じUNIX系であり、稼働安定性を評価したからです。元来、当行の業務システムは、さまざまな処理ロジックをOSと分離した形で部品化する“アラカルト”という業務開発支援ツールで作られており、どのようなOS(Linux、Windows®)でも、この部品さえあれば、これまでの業務ロジックをそのまま流用できるメリットがあります。このツールでの業務システムの開発は非常にスピーディに行え、これが構築開始からわずか1年でインフラ整備と多くのシステムリニューアルが完了した大きな要因となっています(システム部主任調査役 長浜敏寛氏)

アプリケーションやプリンタ、ネットワーク機器もすべて同一機種にまとめたことで、社内全体のファイルの互換性や、ヘルプデスクからの指示も標準化。2050からWindows®2000への移行は、文字どおりスムーズに遂行されました。

### 統合顧客データベースを構築

「第二のポイントである“営業力の強化”に関しては、さまざまな情報を蓄積・共有して、営業に活かすというコンセプトのもと、

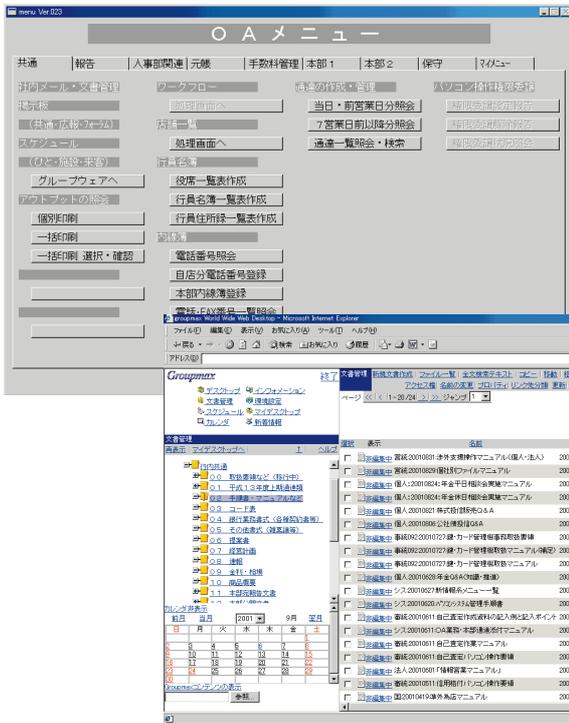
統合顧客DBシステムを構築しました。従来は、何か新しいシステムを構築しようとする、さまざまなシステムからデータを集めなければなりませんでした。統合顧客DBと、日立の金融機関管理会計システムSKATS、ALMシステムCHASERをベースにした収益管理システムや、BusiActiveをベースにしたMCIF(DBマーケティングシステム)などを導入したことで、ユーザーニーズに迅速な対応が行える環境が整いつつあります。現在は、銀行の視点からではなく、お客さまの視点からのDB構築を図るため、発想を変えたデータの蓄積の仕方を検討している段階ですが、基本となる道具立てがそろったことで、CRMへの展開にも弾みがつくと考えています(長浜氏)

さらに、第三のポイントである“事務効率化”については、センター系の帳票削減を図るペーパーレスシステムを導入。従来は毎日夜中に印刷し、朝一番の宅配便で全国に配布していた日次帳票の多くが、各支店の端末からオンラインで照会できるようになり、年間にかかりの額になっていた紙・印刷コストの削減と、発送・保管などの作業時間短縮、情報蓄積による効率化と活用を、ともに実現しました。

### 指紋認証システムでセキュリティ強化

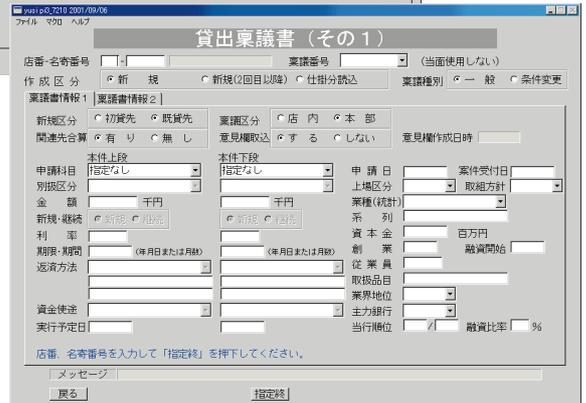
「事務効率化については、グループウェアの導入も大きな意味を持っています。今回は日立のGroupmaxと総務ワークフロ

OAメニュー



Groupmaxの文書管理

業務メニュー



貸出稟議書

一を導入しましたが、社内メール、文書管理、掲示板、スケジュール、そして各種申請業務などがすべて自席のPC上から行えるため、エンドユーザーからも非常に好評です。社内のさまざまな情報を全員がリアルタイムに共有でき、スピード感を持ったコミュニケーションが実現したことで、社内の文化も確実に変化していることを実感しています（長浜氏）

そして今回のリニューアルで、にしぎんが最も力を注いだというのがシステムセキュリティ。本人認証には、人事システムと連動した本格的な指紋認証システムを導入し、所属・権限チェック、シングルログインなど、強固なセキュリティと使いやすさを兼ね備えたシステム基盤を構築しました。

「現在は、どの銀行でも認証システムには非常に力を注いで

います。お客さまの重要な情報を外部に絶対漏らさないためにも、だれがどんな情報を、いつ照会したかをすべて記録として残すため、システムにログインする際には、これまでのユーザーIDとパスワードに代え、代理使用ができない指紋認証を使うことにしました。

また、銀行は異動が多いため、指紋認証と人事システムを連動させ、直近のデータをリンクさせるようにしています。これにより、人事異動後も、本人が指紋さえ読み込ませれば、新しい所属・担当係、アクセス権限情報などが自動的に認識されます。むしろ、さまざまな業務へのアクセスはシングルログインにしているため、一度指紋を読み込ませれば、異なるシステムへのログイン時も、何度も認証を求められることはありません。



にしぎんでは、人事システムと連動した本格的な指紋認証システムが導入されている



勘定系メインフレームのMP5600EX



行内では新システム活用のため、FLORAを使用した徹底した研修が行われていた

また、出張先の支店でも、指紋認証できますので、出先でメールチェックもできます（長浜氏）

#### さまざまな業務とサービスを速く・安く・簡単に実現

システム全体の運用管理コスト(TCO)についても、アラカルトベース(業務システム)と、Webベース(Groupmax、ペーパーレスシステムなど)がメインなので、クライアント2,000台に対してのメンテナンスパワーは非常に高いそうです。万一マシントラブルが起こっても、クライアントにはデータがなく、アラカルトベースのプログラムはhttpと同様な更新方法のため、そのまま予備機の交換だけで済むそうです。

また、センターにある50台のサーバについても、日立の統合シ

ステム運用管理JP1による自動化を推進。今後はさらに独自の監視システムなどを利用して、運用管理の自動化と無人化を進めていきたいということです。

「日立さんに一生懸命がんばっていただいた甲斐もあって、先端の業務に使える道具とインフラがとおりそいました。これからは行員一人ひとりが、新システムで獲得する情報リテラシーをもとに、担当業務の徹底した効率化や、情報の共有・活用による営業力強化を追求し、さまざまな業務とサービスを速く・安く・簡単に実現していくことが必要だと考えています（長浜氏）

新時代の金融業務に必要な先端システムを、抜群のコストパフォーマンスとスピードで導入した西日本銀行。そのシステム開発に対する卓越した技術とノウハウは、今後も経営のハイスピード化と顧客満足度の向上を力強く支えていくでしょう。



統合顧客DBサーバのH9000/VT850(OS:HP-UX)



GroupmaxサーバHA8000/70(OS:Windows®2000)